

～温暖化、資源の枯渇、食糧難…バイオの力で世界を変える長岡企業～

バスで
行く!

世界的な 急成長が止まらない

サステナブル産業の

秘密を探る

2024.8.7 / 9:00-18:00

新潟県の学生諸君に告ぐ!

いま世界は、温暖化や資源の枯渇、食糧難、人口問題、持続可能な社会の実現など、克服すべき課題は多く、時代の大きな転換点を迎えています。

今回、長岡バイオエコノミーコンソーシアム（事務局：長岡市役所）では、これら世界的な課題をバイオの力で変えようと挑戦し続ける長岡企業4社をめぐり、その秘密を探り、さらなるイノベーションを学生と企業で考えるプログラムを行います。

長岡から世界へ変える——

学生のみなさんの参加をお待ちしています！

先着

30名

募集期間 / 6.17～7.15

イベントの詳細や
お申し込みはこちら!

参加対象：高校・高専・専門学校・大学生



主催・お問い合わせ / 長岡バイオエコノミーコンソーシアム（事務局：長岡市役所 商工部 産業イノベーション課）
TEL / 0258-39-2402 MAIL / sangyou-seisaku@city.nagaoka.lg.jp



世界に挑戦するバイオ都市・長岡市 そのサステナブル産業を支える企業の 挑戦と謎を解き明かすツアーへようこそ!!

課題解決の鍵は、
IT×バイオにある!?



システムインテグレーション、先端技術活用
(機械学習コンサルティング、DX推進、バイオサイエンス)

当社は長岡発祥の40年続くIT企業です。高いIT技術が強み
で、今年は新潟大学と共同で「糖鎖」の構造解析をサ
ポートするAI技術の特許を取得しました。IT×
バイオで社会貢献が出来る企業です。

バイオの力で土づくり!
見えない世界を覗いてみよう!



培養土・土壌改良材の製造販売
有機資源のリサイクル事業

微生物発酵のプロ集団として地域の未利用資源の有効活用
に挑戦。『緑のリサイクルシステム』で今ある緑を次の
緑に繋ぎ、豊かな土づくり資材に生まれ変わら
せる環境再生型企業として地域に貢献
しています!

見学
企業

「魚で野菜を育てる？」
ミライの循環型農業とは…



循環型農業システム、有機野菜の生産&販売
チョウザメの養殖、キャビアの製造販売

アクアポニックスという、養殖するチョウザメの排泄物をバイオ
の力を活用して植物の肥料に分解して水耕栽培を行うシス
テムを開発するベンチャー。従来の農業に比べて水
の使用量を9割削減し、人にも地球にも優し
い次世代の食料生産モデルの実現
を目指しています。

「生きるうえで大切な水と食」
それを支える企業とは!



公共インフラ(上下水道施設)の維持管理業務
下水汚泥の再資源化利用(肥料化)

安心・安全な水道水を作り → 使い終わった水を綺麗にして
→ その過程で出る廃棄物を肥料に再生し → その肥料
を農地へ還元する。当社の事業領域は、バイオ
エコノミー社会の形成に向け貢献して
いると考えます。



連絡事項

- 集合時間・場所
9:00に、アオーレ長岡 市民交流ホールD
- 参加費
無料(昼食付)
- 持ち物
筆記用具、飲み物
- 注意事項
●メディアによる取材、ホームページ等に
掲載される場合がありますので、あ
らかじめご了承ください
●参加者には別途詳細をご案内します

タイムスケジュール

- 9:00 ~ 9:40
ツアー概要と
ワークショップの説明
- 10:00 ~ 12:30
企業2社の視察(各社1時間)
～昼食～
- 13:30 ~ 16:00
企業2社の視察(各社1時間)
- 16:30 ~ 17:15
WS・発表会
- 17:15 ~ 18:00
企業と参加者の交流会

新潟県長岡市とは?

長岡花火は日本のみならず、「NAGAOKA Fireworks」
として世界に知られています。そして、全国で2位の蔵
元数16を誇る「日本酒」、作付け面積2位の「お米」、発
祥の地である「錦鯉」など、昔からバイオエコノミーが
成長してきました。

長岡市には自治体最大級の生ごみバイオガス発電セン
ターがあり、近年では、「生ごみ→発電→肥料→市民配布」
を実現。企業においても、今回のプログラムの4社をは
じめ、バイオ産業の成長が進んでいます。また、令和3
年には内閣府の「地域バイオコミュニティ」に認定され、
昨年11月には国内最大級の公的研究機関「産業技術総
合研究所」が長岡市に拠点を設けるなど、「バイオ都市・
長岡」として全国での認知度が年々高まっています。